

先週のマーケット動向(8月23日~8月27日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,176.0	1,177.1	1,163.2	1,169.2	▲10.4
JPY/KRW	10.7065	10.7171	10.5723	10.6291	▲0.124
KOSPI	3,086.81	3,161.00	3,064.65	3,133.90	+73.39

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は反落した。20日海外時間にFED高官がテーパリングを遅らせる可能性について言及したこと等を好感しやドル売りとなったことで1,176.0ウォンでオープン。韓国8月輸出が前年同期比+40.9%と好調だったこともあり、24日にかけて外国投資家の株買いが入り、ドル/ウォンは下落した。24日海外時間にファウチ米感染症研究所長が来年春までにコロナウイルスによる感染拡大を制御できる可能性がある認識を示すと、25日開始時にドル/ウォンは週安値1,163.2まで下落。しかしその後は、週末にジャクソンホール講演を控え、テーパリング開始への布石が意識される中、徐々にドル/ウォンは底堅くなった。26日には韓国中銀が政策金利を引き上げ、更なる金融正常化を示唆するも、ドル/ウォンは上昇。27日には月末の実需のウォン買いフローが散見されたものの、ドル/ウォンは全体的に底堅く推移し、結局先週末対比10.4ウォン下落の1,169.2ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は上値の重い展開を予想する。週末のジャクソンホール講演では年内のテーパリング開始を示唆しつつも、その後金融政策正常化(利上げ時期等)についてはインフレ、雇用の状況から慎重な姿勢を示している。またリスクは一時的であるとの姿勢を維持しつつも、デルタ株の感染拡大による影響にも慎重に対応するとしており、市場全体ではドル売りで反応している。さらに韓国においては、本日、明日にかけて月末の実需のウォン買いが相応に期待できることから、ドル/ウォンは下落しやすい1週間となろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1150 ~ 1175	10.45 ~ 10.75	108.8 ~ 110.8

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 30日(月) 欧 8月 消費者信頼感指数 確報値
- 31日(火) 日 7月 鉱工業指数 速報値
- 日 7月 失業率
- 中 8月 製造業PMI
- 中 8月 非製造業PMI
- 米 8月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 1日(水) 米 8月 製造業PMI 確報値
- 欧 8月 製造業PMI 確報値
- 米 8月 ISM製造業景況指数
- 米 8月 ADP雇用統計
- 2日(木) 米 7月 製造業受注
- 韓 8月 CPI
- 韓 2Q GDP 確報値
- 3日(金) 欧 8月 サービス業PMI 確報値
- 米 8月 サービス業PMI 確報値
- 米 8月 非農業部門雇用者数
- 米 8月 失業率
- 中 8月 総合PMI
- 中 8月 サービス業PMI
- 米 8月 ISM非製造業景況指数